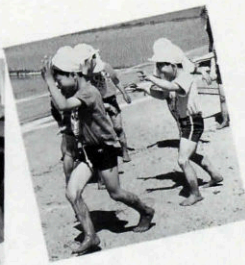


ゆやの子わいわいスナップ！

みんな
の
ひろば



くらすめ～る

学級通信

川尻小学校2年生

担任：長岡文乃先生

児童：9名

宝の山

朝もやのトンネルと、前方に広がってくる農村や漁村の全てを合わせ持った町、これが川尻である。大きく広がる紺碧の海、ぐっと迫り出した山々。自然に恵まれた数々の宝の中で、男子二名、女子七名の二年生たちと生活できることが私の楽しみである。

内緒話をするように、
「先生、目をつぶって。これあげるから。」
と子どもに言われ、手のひらを見ると、たんぽぽ、クローバー、貝がら、小石など普段

自分が見落としがちな宝物がちょこんとのおいていて、とてもうれしい気持ちになる。手の中で、もそもそと動いているイモリを見たときはさすがに驚いたが、しっぽをふりふり滑稽な動きをしているのを見ると、気持ちの悪さも忘れて見入ってしまう。

こんな素晴らしい感性をもった子どもたちを見ていると、
「今日も一生懸命がんばらなくっちゃ。」という気持ちで一杯になってくる。



生涯学習

サークル

錦城会油谷道場



毎月第一、第三土曜日向津具公民館と中央公民館で、朗吟と詩舞を楽しんでおられるのは、錦城会油谷道場（代表 浅山タミ子さん）のみなさん。中央公民館では午後二時から、向津具公民館では午後六時三十分から毎回練習をされています。現在会員は二十三名で幅広い年齢層の方々がいっぱいいます。

詩吟とは漢詩に節をつけて吟じることなのですが、節の付け方は流派によって異なるのだそうです。「大きな声を出すことはストレスの解消にもなるし、健康にもいいですよ。」とみなさん。ある方は「練習のある土曜日が待ち遠

しくて、来ようと思って気を張りつめていたら病院へ行かなくてもよくなりました。」とおっしゃっていました。

詩吟の難しいところは、本来に詩の意味を理解して感情を歌に込めること、だそうです。「詩吟というと年寄りくさいと思われるかもしれませんが、やってみるとそうでもないですよ。若い人はカラオケが好きですが、発声の練習にもいいのではじめてみませんか。」と浅山さんはおっしゃっていました。

会費は月三千元（伝位によって異なる）です。

問合せ ■向津具公民館
34-11112